



豊津商店会前
画：高宮良子

すいた今昔 昔ながらの風情を残している豊津駅。不況と大型店に負けず、ガンバレ!

すいた市民ぶん

2011.3 MARCH

vol.21

この新聞は定期的に発行し、吹田市民のみなさまにお届けしています。

CONTENTS

すいた市民ぶん 対談

正森かつやさんに聞きました
福祉最優先 もう待たなし の吹田へ 2

問題だらけの「東部拠点整備」
吹操跡地は 緑あふれる市民の防災公園に 6

千里救命救急センター「命の砦」がなくなる?! 12

大阪都構想 大阪の起爆剤になるのか 大規模開発は「都」で、住民サービスは自己責任で 8

極寒のアフガンで見たのは **戦争や貧困で犠牲になる女性と子ども** 10

勝手に吹田遺産①
「蟹工船」の時代
歌で労働者をはげました小代義雄 13

吹田溺愛主義⑥
「様式の上であれ」と村野藤吾は言った 14
いわみせいじのタテジマ文化論② 7

阪 急豊津駅から江坂方面に抜けるバス通りはその昔、「吹田街道」と呼ばれ、対面通行のメインストリート（裏表紙の写真）だった。

今は西行き一方通行になって
いるバス通りを江坂方面に
200mほど進むと、旧糸田川
の堤防がある。関西大学の裏山
あたりを水源とする糸田川は、
かつての「暴れ川」。度重なる
水害の結果今の場所に付け替
えられたが、その記念碑が豊津
駅の交番前に建っている。バス
通り沿いには、今も「豊津商店
会」が広がる。駅前の文具店が
マンションに、市場がスーパー
に変わったが、まだまだ「昔の
面影」を残している貴重な商店
会である。